

平成22年度概算要求における科学技術関係施策(ものづくり技術分野)(新規案件)

(金額の単位:百万円)

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課 題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント (有識者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント (匿名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合 は、制度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
S	S	高出力多波長複合レーザー加工開発プロジェクト	経済産業省 NEDO	890	○		<p>低炭素社会の実現に向けて、軽くて強いが加工難易度が極めて高い炭素繊維材料等の複合材料の難加工、薄膜太陽電池デバイスや有機ELデバイスの次世代製品の低コスト製造において、短時間でかつ高品質に加工できる次世代加工技術の開発が必要である。本施策では、素材メーカー、加工機メーカー、ユーザー(例:自動車、太陽電池、情報家電)、大学、研究機関、が連携して、高出力化技術、高品位化技術、長波長レーザーと短波長レーザーとを合わせた多波長複合レーザー加工技術の開発・実用化を目指す。</p> <p>NEDO運営費交付金の内数 【基本的な積算】 事業費:872 研究開発管理費:18</p>	<p>○新しい材料の加工方法としてのレーザー加工は今後益々重要性を増すと思われる。目標(特に装置機能と価格)を明確にした上で、その目標達成に必要な課題解決を集中研究拠点方式で迅速に実施すべきである。(奥村直樹議員)</p> <p>○レーザー加工による炭素繊維材料の加工プロセス開発の重要性は理解できるものの、最重要政策課題としての位置づけは不明確である。(相澤益男議員)</p> <p>○加工技術の向上に重要であると思われる。(今榮東洋子議員)</p> <p>○日本がリードしている技術ではないので、市場を確保できるか不明。炭素繊維の普及は外国の技術でもできる。研究体制は明確だが、商品化のイメージがない。(青木玲子議員)</p>	<p>○今回開発しようとしているレーザーは長波長と短波長を組み合わせ、加工の精度、速度を高めたレーザーであり、難加工である炭素繊維複合材料や太陽電池などの機能性材料を高品位・高品質で加工することができるものであり、非常に重要である。</p> <p>○レーザーの光源に近い企業とその応用に強い企業との連携として集中研究拠点体制で取り組む予定であり、効果の期待できる優れた施策である。</p> <p>○我が国製造業の国際競争力の維持・強化、技術安全保障の観点からも国産の次世代レーザー技術を国として取り組む意味は大きく、コストパフォーマンスに留意しつつ明確な商品化イメージを持って、積極的に実施すべきである。</p> <p>(奥村直樹議員)</p>	<p>○今回開発しようとしているレーザーは長波長と短波長を組み合わせ、加工の精度、速度を高めたレーザーであり、難加工である炭素繊維複合材料や太陽電池などの機能性材料を高品位・高品質で加工することができるものであり、非常に重要である。</p> <p>○レーザーの光源に近い企業とその応用に強い企業との連携として集中研究拠点体制で取り組む予定であり、効果の期待できる優れた施策である。</p> <p>○我が国製造業の国際競争力の維持・強化、技術安全保障の観点からも国産の次世代レーザー技術を国として取り組む意味は大きく、海外の動向を踏まえつつ、コストパフォーマンスに留意しつつ明確な商品化イメージを持って、積極的に実施すべきである。</p> <p>(奥村直樹議員)</p>	